

編集後記

機関誌『陽明学』第十五号（林良斎特集号）をお届けいたします。

前松川健二所長の後任として四月、所長に就任いたしました。本誌創刊号（平成八年三月）の発刊の折りに、洪樵榕所長の下で編集に携わりましたことを思い出します。

本誌、巻頭論文には、北海道大学佐藤鍊太郎教授の玉稿を頂きました。二本目は、浙江省社会科学院研究員錢明氏（翻訳は渡邊賢、埼玉大学・本学非常勤講師）、三本目は石原伸一氏（本学大学院後期在籍）の孟子解釈史研究成果の一端であります。前号に引き続きお願いいたしました。

さて、林良斎特集につきましては、執筆を御依頼いたしました多度津文化財保存会理事長白川武先生が逝去され、吉田公平先生のお計らいにて、白川武先生御担当分野（教育者としての林良斎）を含む内容にて御執筆頂くことになりました。

さて、本研究所の公開講演会（十二月七日（土）於柏沼南校舎二二〇八会議室）につきましては、福岡女子大学正田啓祐教授（本研究所客員研究員）をお願いいたしました。演題「陽明学について」―入門から現代の動向まで―聴講者約百名。要旨掲載。御多忙中、林田明大先生のご参加を頂きました。御礼申し上げます。

三島中洲研究会（二月二十二日（土）於柏沼南校舎二〇七教室）附属高等学校松尾政司、本学客員教授松川健二の両先生にお願いいたしました。参加者約二十名。

前号から、本研究所の研究活動の一環として輪読会の成果の分載が始まりましたが、本号もその成果を掲載することが出来ました。

「紹介と短評」・「陽明学便り」の欄については、正田本研究所客員研究員にお願いいたしました。

次号、第十六号は王心斎特集号でございます。

（川久保）

陽明学（年一回発行）

第十五号

平成十五年三月三十一日

定価 本体一〇〇〇円＋税

送料 二四〇円

編集責任者

川久保 廣 衛

発行責任者

山田 安之

発行所

二松学舎大学陽明学研究所

東京都千代田区三番町六一六

郵便番号 一〇一八三三六

電話 〇三―三三六―一七四三八

発売所

株式会社 明德出版社

東京都新宿区新小川町八一二六

郵便番号 一六二一〇八一四

電話 〇三―三三六―四〇四一

FAX 〇三―三三六―四〇四三

振替 〇〇一九〇―七五八六三四